



かつらぎ町滝・極楽寺への「お身代わり仏像」の奉納について

県立博物館では、県立和歌山工業高等学校、和歌山大学教育学部等の協力で、3Dプリンターを用いた文化財の精巧な複製を作り、文化財の防犯や防災への活用を図っています。

このたび、かつらぎ町滝・極楽寺の菩薩半跏像の「お身代わり仏像」の製作が県立和歌山工業高等学校で行われ、着色作業を笠田高校の美術部が担当しました。

美術部員が顧問の山根先生の指導の下、奉納用レプリカ、実際に手にとって体験できるレプリカ、2体の着色を行っています。NHKぎゅぎゅと関西の「クローズアップ」コーナーでも紹介されました。ただただ綺麗な着色を行うのではなく、実際の仏像の汚れをどこまで再現できるのかを試行錯誤を繰り返しながら作業を進めています。本当に大変な作業ですが、生徒は真剣なまなざしで、集中し大変熱心に取り組んでいます。



ギター部 fun concert 2022

笠田高校ギター部 fun concert 2022 が、かつらぎ町総合文化会館（あじさいホール AV ホール）で行われました。

昨年度は新年早々の1月に3年生の卒業ライブとして開催しましたが、今回は夏季休業中の7月30日（土）1年生から3年生そしてOB、OGも出演して、大変にぎやかなものでした。

サブタイトルは、「音楽で最高の日を奏でよう」です。素晴らしい演奏や失敗も含め、部員たちの輝く笑顔は観客の保護者様や教員を包み込んで最高の日となりました。



高校生よみかたりボランティア養成講座

8月1日（月）～3日（水）、図書館において「高校生よみかたりボランティア養成講座」が開催されました。本校の学校司書が講師を務め、対象年齢に合った絵本や紙芝居の選び方、よみかたりに適した声の大きさ、絵本の読み方、紙芝居の演じ方等について学習しました。生徒たちは熱心に講義に耳を傾け、最終日には15分の「おはなし会」を発表しました。

昨年度はコロナ感染防止



のため、残念ながらよみかたりボランティア活動は実施できせんでしたが、今年度は、地域の感染状況を見ながら計画します。早くコロナ感染の不安なく、地域の小学校等で、子ども達と触れ合いながら、絵本や紙芝居や手遊び等、楽しい「おはなし会」の機会を持てる日がくればいいな・・・と思っています。

人権平和登校日

8月9日（火）かつらぎ町総合文化会館で人権平和登校日を実施しました。開会の挨拶の中で野川校長は自身の祖父がアジア太平洋戦争に従軍し、シベリア抑留を経験し、幸いにも帰国できたという話をしてくれました。少し紹介させていただきます。

「私の母方の祖父はもう20年以上前に病気で亡くなりましたが、従軍し、戦後もしばらくシベリアに抑留されていました。祖父は幸運にも日本に帰ってくることができ、その後も家族と幸せに過ごすことができました。私が印象に残っているのは祖父の小指の先がなくなっていたこと。幼い私が「なんで、おじいちゃんの小指はないのか」と聞いたとき、「凍傷になったからだよ」とだけ答えた祖父の顔がとんでもなく厳しく、なんだか聞いてはいけないことを聞いてしまったのだと幼心に感じました。祖父はその後亡くなるまで、戦争のことやシベリアでのことなど、一度も話すことはありませんでした。しかし、あるとき、祖父の部屋のゴミ箱に「シベリア抑留者をしのぶ会」の案内の封筒が捨てられていたのを見つけました。祖父にとっては、どんなに年月がたっても、癒えることのない辛い経験であったことを中学生の私は思い知らされました。」

今回鑑賞した映画は「ラストゲーム最後の早慶戦」で実話を映画化した作品です。直接に戦争を描いた作品ではないですが、太平洋戦争中の1943年（昭和18年）10月16日に日本で行われた野球の「出陣学徒壮行早慶戦」の開催に尽力した関係者、また徴兵を前に「最後になるかもしれない」野球試合に臨む選手たちの生きざまを通して、情熱を持って目標に挑むことの素晴らしさ・平和や命の尊さを問いかけた作品でした。



2学期始業式

8月25日（木）2学期始業式を行いました。2学期の始業式も新型コロナウイルス感染症対策として、リモートで実施しました。1人1台PCや教室の大型プロジェクター、Wi-Fi環境の整備が進み、始業式の式辞は校長自作のパワーポイントを使って生徒に語りかけました。1学期終業式での「種まき」の話、3年生には進路実現に向けて等のスライドが生徒のPCに映し出され、式辞を行いました。最後にInstagram「笠田高等学校 校長つれづれ日記」と題して日々の学校生活の様子を配信することも紹介しました。詳しくは笠田高校のホームページをご覧ください。

